

議会報編集委員会 記録

1 日 時 平成30年6月21日(木)

開会 午後 1時30分

閉会 午後 2時17分

2 場 所 議会会議室

3 出席議員 10人

委 員 長	成 田 光 雄
副 委 員 長	高 道 秋 彦
委 員	松 井 邦 人
委 員	金 谷 幸 則
委 員	岡 部 享 也
委 員	舎 川 智 也
委 員	高 田 真 里
委 員	金 井 毅 俊
委 員	小 西 直 樹
委 員	松 尾 茂

4 欠席議員 0人

5 職務のため出席した職員

【議会事務局】

事務局 長	島	静	一
事務局 次 長	岡	地	聡
議事調査課 長	福	原	武
議事調査課 長代理	石	黒	隆
議事調査課 副主幹	朝	倉	雅
議事調査課 調査係長	牧	野	仁
議事調査課 主任	桂	川	卓
議事調査課 主任	牧	石	真

6 協議結果について

1 市議会だよりの表紙デザイン、レイアウトについて

(1) 表紙デザインについて

協議の結果

「とやま」ロゴは角ゴシック書体の縁取り付きに、写真の周囲は余白なし（「第2案」と「第3案」を組み合わせたもの）とすることを決めた。

(2) レイアウトについて

協議の結果

配付資料の案を基本にして、作成していくことを決めた。

2 政務活動費の特集記事について

協議の結果

- ① 文字、数字、グラフなど全体的に大きく見やすくする。
 - ② 各会派毎の使用率などの表に返還額を加えたものを、各会派支出内訳の帯グラフの左横へ移動させる。
 - ③ 日本維新の会とフォーラム38については、他会派と同列に並べ帯グラフのスペースに説明文を掲載する。
 - ④ 支出科目説明の表を横長にして、行数を抑える。
- ことを決めた。

7 会議の概要

委員長

委員各位には、大変お忙しいところ、お集まりいただきまして、ご苦労様です。

ただいまから、議会報編集委員会を開会いたします。なお、舎川委員より少し遅れるとの報告を受けております。

本日は、NHKよりテレビカメラ撮影の申し出がありますので、許可します。

協議に先立ち、委員会記録の署名委員に、小西委員、松尾委員を指名いたします。

本日の協議事項は、お手元に配布のとおりであります。

まず、大きな協議事項1番目、「市議会だよりの表紙デザイン、レイアウトについて」であります。まず 表紙デザイン案について、事務局から説明願います。

議事調査課長

それでは、表紙デザイン案について、ご説明いたします。表紙デザイン案を3枚お配りしています。中程にそれぞれの説明がありますが、まず、1番目は左上の「とやま」というロゴが少しずつ変わっております。あと、下の写真ですが、余白の有るものと無いものとなっております、それぞれこれらは組み合わせることが出来ます。また、

色は現在青色でお示ししていますが、自由に変えることができます。案は一つの例示としてお出ししているものです。以上になります。

委員長 それでは、表紙デザイン案について、何かご意見はありませんか。

小西委員 写真の方は、2番の余白なしがいいと思います。とやまのロゴは、3番の縁取り付書体がいいと思います。

岡部委員 会派でどれがいいのか検討してきましたが、市議会だよりであるということが分かればいいと思いますので、とやまのロゴは2番がいいという意見が多く、写真の周囲の余白については、前年度余白をなくしたという経緯がありますので、2番でいいと思います。

舎川委員 小西委員がおっしゃいましたが、写真は、余白のない2番で、とやまの書体は、枠のあるくっきりはっきりした見やすいものがいいという思いです。

高田委員 昨年度から議会報編集委員として関わってきましたが、先程から話が出ていますよう

に、写真の周囲に余白が多かったものをなくして、全面に見えるようにしてきましたので、引き続きそのようになっている2番がいいと思います。

また、「とやま」の書体ですが、2番の書体が下の「市議会だより」と同じ角ゴシックで、3番は違う書体に縁取りがしてありますが、これを融合させたもの、イメージとして作ったものを今持ってきましたが、角ゴシックに縁取りを付ける形がいいと思います。縁取りを付けてははっきり見せるのであれば、同じ書体に揃えたほうがすっきり見えていいと思います。

委員長

それでは、他にないようであれば、ご意見をまとめますと、まず写真周囲の余白につきましては、余白なしで一致していたと思います。とやまのロゴに関しては、2番と3番で分かれていまして、高田委員が言われた2番に縁取りを入れるという意見もございました。皆さんの思いとしては、高田委員の2番に縁取りを入れるという案で、と感じましたがいかがでしょうか。

松尾委員

採決を取ってもらえますか。

委員長

それでは、写真については、余白なしが多

かったと思いますが、余白なしの方は挙手願います。

(挙手 9 名)

委員長 それでは、写真については余白なしの方で決定いたします。
次は、とやまのロゴですが、2番と3番、2番に縁取りを入れたもの、といったご意見がありました。まず3番の方は…

松井委員 委員長、1番、2番、3番のそれぞれ縁取り有り無しを聞いてもらおうと分かりやすく挙手できると思います。

委員長 それでは、1番の縁取りなしの方は挙手願います。

(挙手 0 名)

委員長 1番の縁取り有りの方は挙手願います。

(挙手 0 名)

委員長 2番の縁取り有りの方は挙手願います。

(挙手 6 名)

委員長

賛成多数ですので、とやまのロゴは2番の縁取り有りということで、写真は余白なしということで決定したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、次号（No.57）からの表紙デザインは、そのように決定いたします。
次に、レイアウト案について、事務局から説明願います。

議事調査課長

それでは、とやま市議会だより（No.57）のレイアウト案について、ご説明いたします。資料をご覧ください。まず、今回から2ページ増の12ページとなっております。発行日が8月5日となっております。表紙デザインについては、今ほど決まりました案で進めてまいります。

2ページをご覧ください。平成30年6月定例会の概要であります。まず見出し文とリード文、そして定例会の日程、可決した主な議案、請願、意見書の審査結果、3ページへいきまして、議案・意見書・請願の会派別賛否一覧、閉会中等に開催されました委員会・諸会議について掲載いたしま

して、今回関連した写真ということで、議案説明会と議会運営委員会の様子の掲載を考えております。

次に、４ページ５ページです。こちらには４常任委員会の委員長報告と関連写真等を掲載いたします。現在、本会議がまだ終わっていませんので、空欄になっております。６ページから１０ページの中段までは、今回質問されました２３名の議員の一般質問についての記事を掲載いたします。これも現在作成中ですので、枠のみとなっております。

１０ページ下段をお願いします。こちらは、先の本委員会でお決めいただきました市議会豆知識を掲載いたします。今回は、「市議会ってなんですか？」「市議会はいつ開催されていますか？」といたしまして、掲載を考えております。

１１ページをお願いします。傍聴、議会中継、会議録のご案内や、議長出席の公務などを掲載いたします。まず、本会議と委員会の傍聴に関するご案内と８階傍聴席への見取り図を掲載いたします。中段には、ケーブルテレビやインターネットでの議会中継に関するご案内、その下に本会議等の会議録のご案内、次に下段左側は、議長出席の公務といたしまして、４月に本市で開

催されました北信越市議会議長会定期総会に関する記事と、そこで会長挨拶をする議長の写真でございます。下段右側は、請願・陳情に関するご案内を掲載いたします。12ページをお願いいたします。こちらは、政務活動費の特集ページでここでは白黒になっていますが、カラーになります。記事は、平成29年5月から30年3月分までの収支状況について掲載を予定しております。内容につきましては後ほど協議いただきます。説明は以上でございます。

委員長

それでは、レイアウト案について、何かご意見はありませんか。

〔発言するものなし〕

委員長

特にご意見がないようでしたら、配布資料の案で進めてまいりたいと思います。それでは、次号（No.57）からのレイアウトについては、そのように決定いたします。

委員長

次に、大きな協議事項の2番目、「政務活動費の特集記事について」であります。前回の委員会でのご意見や、この委員会に属していない会派を含めた全会派にあらかじめお配りしたイメージ案へのご意見を参

考に、改めて作成した案を昨日お送りしていますが、これらについて、皆様のご意見をお聞かせください。

岡部委員

政務活動費の支出額をグラフにしていますが、会派によっては、特定の経費が非常に大きく見えるところがあると思います。これは、返還額を含めて100%としたものでグラフ化したほうが同様のスペースになっていいのかなと、例えば「光」は、人件費が大きく感じてしまいます。返還額が多いのでこれを含めたものになると圧縮されて、正確なものになると思いますがどうでしょうか。

「光」の方から委員長へ、意見書の申し入れがあったともお聞きしましたが、それについても報告があればと思います。

委員長

「光」から意見書をいただき検討いたしました。正確性ということで、グラフの中に、金額とパーセンテージを入れたものにしました。返還額を含めたグラフにというご意見は伺いましたが、支出の内訳を分かりやすくすることに重点を置くことが大事だと思いますので、返還額は、下の交付額・支出額・使用率という表で対応しました。実際に今も資料作成費等は線のような状態で、

これに返還額を入れて圧縮されたグラフになると、表を比較してみましたが、すごく見にくくなってしまいました。ほかの会派のご意見も参考にして、このように作成しました。

金井委員

委員長が今、説明されましたが、岡部委員が言われたとおり、返還額もグラフの中に入れるべきと思います。今の資料のグラフの中の数字は、私にはほとんど見えません。前にいただいた資料の数字の方が比較しやすく見やすいです。返還額も使用した数字になるということを皆さんにご理解いただきたいと思います。1人月額15万円までの中で、交付申請して一旦受け取った金額ですので、返還も使用した中に入ると思いますが違いますか。

委員長

違います。

舎川委員

今の金井委員の話も、気持ちはわかりますが、我々が政務活動費をどう使い、それをどう見やすく伝えるかが重要だと思います。しかしながら、今回のこのグラフですが、先程からの委員の発言がありましたが、少し偏って見えるのかなと思います。その辺り議会として表に出す中で、交付額や返還

額も見える形がいいと思いますので、調整できないものかなと思います。
今からこれは変更できますか。

議事調査課長 今から変更可能です。

岡部委員 先程、言いましたが、返還額を入れた交付額としてのグラフがいいと思います。スペースの問題はあると思いますが、会派名の横幅を縮める等により、見やすくできるのかなと思います。

小西委員 返還額を入れて100%のグラフにすることがいいと思いますが、スペースの関係で今でも細く見える費目が線のように見える面もあったり、細かく見える費目が、見えにくくなってしまうという弊害もあると思います。私は、前回の案のレイアウトのほうがいいと思いますし、金額の合計の表の中に返還額を入れるほうがいいと思います。

委員長 グラフの中の数字ですが、これはこれから大きく見やすく対処します。

小西委員 対処できますか。

委員長 これは、エクセルで作成したものですので、

これにより業者で作成するものは、大きく太くしてもっと見やすくできてきます。

副委員長

これは、委員長、事務局と協議しながら作成してきましたが、最初は円グラフという意見やグラフの大きさを金額に合わせるといった意見があったりしました。交付額・支出額が一番大きい自由民主党と小さい光とでは約8倍の開きがあります。そういった中で、返還額を入れるとなると、実際作成してみましたが、使用率の低い自由民主党や光は半分近くが返還分となり支出内訳が非常に見にくくなってしまいう訳なのです。そういった検討を重ねてきた結果であるということをご理解いただきたいと思います。

松尾委員

そもそも、グラフというのは形であり、返還額を入れるということのも重要なものかもしれませんが、会派毎に何に使われたのかを市民の人は知りたいのだと思います。グラフの中に数字を入れなくても、詳しく知りたい人は、前の案にあった金額の表のようなものをみていただく形でいいのかなと思います。

舎川委員

松尾委員の話に付け加えたいのですが、グラフは議会だよりで掲載して、数字など詳

細はホームページに掲載という形を取ることにはできないでしょうか。見せ方がなかなか難しいところですが。

委員長

ホームページについては、この委員会では議論できません。

高田委員

先程から出ている意見はどれも一理あると思いますが、見える化ということで、視覚に訴える形となると、このような大きさの色分けされている帯グラフが見やすいのかなと思います。

交付額、支出額、使用率の表があれば返還額も分かりますし、費目毎の使われ方の説明もあるので、十分これでいいのかなと思います。

金井委員

私は大反対です。もし、この形であれば、議員1人あたりの平均で掲載すればいいと思います。事実や公平な形が見えることが大前提だと思います。数字であれば表だけでいいですし、帯グラフにする必要はないと思います。返還額が入っていない、都合のいい数字だけで作ったような、公平でフェアでないこの形は議会だよりでするべきではないと思います。また、老眼鏡をしないと数字も見にくいですし、一步譲って、

数字だけであれば前の案の方が見やすいと思います。

舎川委員

金井委員のおっしゃることは、パーティーに銃を持ち込むようなことではないかと思えますし、また、老眼鏡をして見ていただければいいと思えます。公平性については、会派へ交付されたものですので、会派で表すものだと思います。そこは大前提だと思いますし、事実を掲載するものに、公平性という事を持ち出されるのは、パーティーに銃を持ち込むようなことではないかと思えます。

この議論の中で考えてみますと、どの会派も第三者機関を通して支出した正当なものだと思いますし、事実を分かりやすく伝えるとなると、グラフ化というのは必要だろうと思いました。返還額をもう少し見やすくする工夫をして、会派で調整のうえ再度提案していただければと思います。

松井委員

今、舎川委員がいわれましたが、これは、使ったものをそのまま素直に出しただけなので、公平性だとかそういう議論とは全く違うものだと思います。例えば、これが見にくいとか、返還額がどうかということであれば、左にある各会派名の下に、交付額、

支出額、使用率を掲載すれば何の問題もないと思います。

見やすくすることが大事であって、本質論を見失うと違う方向にもっていただけです。これは何のためにするのか、各会派がどのような経費にどれだけ使っているのかを市民に知っていただくことが目的だと思います。返還額を分かるようにするというのであれば、会派名の下に載せ、例えば、グラフを掲載していない日本維新の会、フォーラム38も、枠を作って「交付申請していません」や「全額返還しました」等と記載して、並べて掲載できると思います。その左下の空いたスペースを「政務活動費は、下記のように使われます」の欄の高さを低く、下へ移動すれば全会派が収まると思います。

委員長

松井委員、高田委員が言われましたように、最初からそのように支出に対する割合ということで、分かりやすく掲載するということが、各会派にも話を進めてきましたが、前の案にあった表については、数字ばかりで見にくいということで、私達の判断で帯グラフの中に数字を入れました。中の字が小さく、細いというのは、編集で解消できる範囲のものだと思います。返還額が入っ

ていないということについては、帯グラフとは別の場所に掲載していこうと思います。金井委員が言われた返還額も使用した額であるということについては、使用したものではないと思いますが、そこは意見の違いだと思います。これについて、公平、不公平という議論は、私自身ちょっと意味が分からないところです。また、今まで会派で表してきたところですので、個人分を表すというのは、今の段階では難しいと思います。

金井委員

委員長が今、数字で表すといわれましたので、それである程度納得はしました。といいますのは、政務活動費というのは、使い切りが不正を招いた原因ということで、市民に一番理解されなかったところだと思います。ですから、返還額がどれだけあるのか表すことを言いたかったわけでありまして。数字で出されるということであれば、それでいいと思います。

松尾委員

ちょっと誤解が無いようにしたいのですが、使い切りが悪いわけではないと思いますし、それ以上使っている事実もありますので、そこは誤解のないようにしたいと思います。

私達の会派は使用率70.8%ですが、まだまだしっかり勉強をしていかないとと会派で相談して、視察も増やしていますし、これからも市政に反映していけるような活動、また議員としての使命を果たしていけるような活動をしていかないといけないと思っています。

グラフに関しては、各会派の使い方を表しているわけですので、これはこれでいいと思います。数字の見にくさやレイアウトについては改善していく必要があるのかなと思います。

副委員長

レイアウト等については、委員長と一緒に直していきますけど、これはエクセルデータで作ったものです。これは今後、業者と一緒に作っていく中でもっと見やすくなると思います。

また、日本維新の会とフォーラム38の掲載の件ですが、各会派の下に加えていけばいいのか、それと松井委員が言われたように、会派名の下に、交付額、支出額、使用率、返還額の欄を作る。そうすると、グラフを少し縦に広げることが出来ますので、見やすくなると思います。「政務活動費は、下記のように使われます」の欄は、高さを低くして、横長にして下に移動させる。そ

のようなレイアウトでよろしいですか。

〔「いいと思います」と発言する者あり〕

小西委員

ちょっと話が戻って申し訳ないですが、松尾委員が言われたように、政務活動費の使い切りが悪いように言われましたが、全く違うと思います。正当な形で議会活動の中で必要なものに使うことはいいと思います。私共の会派は使用率98.9%となっていて、ほとんど使い切っているような形ですが、足りなくて私費で研修会等に行っていることも事実ですので、その辺は誤解のないようにといたしますか、考えていただきたいです。

委員長

ご意見の中で、左下の表を無くして、各会派名の下に、その数字の欄を作って、グラフが縦に大きくなって見やすくなる。日本維新の会とフォーラム38については、支出がないので、文章で表すしかないのですが、見やすくする。私自身もその案が一番いいように思います。

皆さんから貴重なご意見をいただきましたが、それらを汲みながら修正して進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、次号（No.57）の政務活動費の特集記事については、そのように決定いたします。

また、前回の編集委員会でご案内しておりました「継続協議中の検討事項」についてのご意見は、次回の編集委員会の中でお伺いいたしますので、よろしくお願いいたします。

この際他に、何かご意見はありませんか。

岡部委員

同じ資料が結構配布されていまして、丁寧でいいわけですが、メールがあり、各委員に配布があり、本日も配布があると、これは、資料を持ってきてもらうか、委員配布をやめるかどうかにはすればどうかなと思います。紙の節約になりますので。

委員長

ご配慮ありがとうございます。参考にさせていただきます。

これで、本日の協議事項は、全て終了しました。

次回の議会報編集委員会は、7月3日

（火）午後2時からの開催を予定しておりますので、よろしく申し上げます。

これをもって、議会報編集委員会を閉会し

ます。

平成30年6月21日

議会報編集委員会 記録署名

委員長 成田光雄

署名委員 小西直樹

署名委員 松尾茂